
暗闇の友達

夢音奏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暗闇の友達

【Nコード】

N8039B

【作者名】

夢音奏

【あらすじ】

これは小説では、ありません。ひとつの詩です。もしかしたら詩とすら呼べるものではないかもしれませんが。なにか分からないものを書いてみました。ただ、それだけです。

負の感情に縛られ、ちつぽけな自分を大きく見せようと腐心して、虚飾の内に自己を投影しても、そこからは得るものなど何もない。

ましてや、自分の親を蔑ろにして自分の生きる道はないだろうし、自分の伴侶であるものを侮り、さらにその親を憎んでいては自分と相手の女性の幸福はありえないだろう。

そして、今度生まれてくる新しい生命の未来をちつぽけな自分の認識でがんじがらめにして、その人生が不幸であると思い込んで、破滅ともいえるような人生を歩かせておきながら、自分はそれらについては一切関与していないふうを装って、いつか気が付けば自分の父親と同じ事を言っている自分に驚くだろう。

たぶん人は、人に生かされているのだと思う。

木は木だけで枝葉を付けれないし、鳥は鳥だけで空を翔べない。

ほとんどの人は相互依存のなかで互いに生きあっているのだと思う。

小さな自分一人のつまらなくてくだらなくて小汚くて狭い感情で、まわりにいる人たちを蔑み、侮り、憎しみ、辱め、詰り、貶め、犯す。こういった行為はできるだけしない事がいい。

誰だって、地べたを這いずりまわり泥に塗れて、もがき苦しんでいるのだよ、そうやって生きているのだよ。自分だけがそうだと思うのは早計だ。

そして、もしも言葉のみによって相手を屈服させようとするのなら、そこに自己の誠実、篤信を以てさらに相手を思いやり、気遣い、労って、全て聴いた上で自分自身の持つている五感を以て誠心誠意答える事が、相手を心服する。と、いうことになるのだと思う。多くを語る必要はきつとない。

きみよ！幸よ！あれ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8039b/>

暗闇の友達

2011年1月3日22時00分発行